1993年9月6日　第三種郵便物認可

自治ひょうご

1706号

2026. 11. 1

月2回（1日、15日）発行　定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長／北池 宏光・編集人／荒西 正和

発行　全日本自治団体労働組合　兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/　E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

当面の日程

4日　秋期闘争勝利！青年女性決起集会（ひょうご共済会館）
4日　2026確定闘争勝利！ 県本部決起集会（神戸市教育会館）
5日　近畿地連定期総会（メリケンパークオリエンタルホテル）
11日　政治学習会（ウェブ開催）
17日　県本部人権研修会（ウェブ開催）

運動と組織の改革を進める

構造改革、多くの単組が発言

第77回県本部大会　政治闘争の重要性確認

県本部は10月12日にラッセホールで第77回定期大会を開催し、代議員・中央委員からの活発な発言を受け、２０２７年度運動方針案をはじめ５つの議案を賛成多数で原案どおり可決・成立した。



産別運動強化を確認した

大会は三田市職労の楢崎潔代議員と姫路市従の植田実代議員を議長に選出。連合兵庫をはじめとする労働組合、兵庫県や神戸市、県や各自治体議員、友誼団体など多くの来ひんからあいさつを受け、議事に移った。

質疑では、第４号議案「運動と闘争の強化に向けた県本部体制・財政の構造改革」について議論が集中。「運動と組織を持続させるためにも組合員の納得と共感が得られる取り組みが大切」「限られた財政のなか、優先すべき課題に集中すべき」「産別組織の維持は重要」などの意見が出された。

政治闘争では、第28回参議院選挙で組織内の鬼木まこと議員を推薦すること、統一自治体選挙で組織内・推薦候補の勝利をめざすことを確認した。

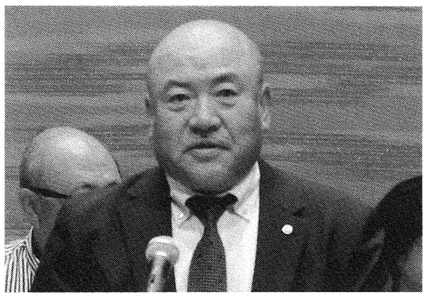
当面の闘争方針案では10月16日を統一闘争とする現業公企第２次闘争や11月13日と20日を行動日として配置する確定闘争、来年１月末の反行革・予算要求の取り組みについて全体で意思統一をはかった。

今回の大会では評議会選出の執行委員について、新たに公企評より神戸市従の余膳正幸さん、衛生医療評の澤田拓実さんの辞任により八鹿病院職組の花井健裕さん、書記局選出の荒西正和さんの辞任により山中一慶さんが選出された。

労働組合の役割確認しよう

処遇改善は市民サービス向上につながる

委員長あいさつ



尾西委員長

今年は熊本での地震や、千葉での豪雨水害など自然災害による被害が多発している。各自治体における災害対応の現場を見渡したとき、財政上の理由から会計年度任用職員が増加し、今や全体の約半数を占める状況となっている。大規模災害が発生した際に住民の命と暮らしを守るためにも、会計年度任用職員の処遇改善と現業職員の定数確保・正規職員での配置について、改めて各単組の取り組みの強化を要請する。

また、課題の解決には現場の取り組みだけでなく、制度や予算の裏付けが必要となる。だからこそ、私たちの声を議会や国政に届けてくれる議員の存在が重要だ。来年４月には統一自治体選挙が控えており、推薦・協力議員全員の勝利をめざそう。

最後に「労働組合とは何か」「自治労の役割とは何か」について、この１年間議論を重ねてきた。労働組合が掲げる権利や処遇の改善要求は、単なる労働条件の向上にとどまらず、市民サービスの質の向上にも寄与しているということを、私たちは改めて実感し、本日の大会において、代議員・中央委員の活発な議論をお願いする。

人員不足の解消求める

鬼木参議院議員が来ひんあいさつ



決意を述べる鬼木まことさん

８月の自治労第１００回大会で、２年後の参議院選挙に向けてたたかう決意を確認していただいた。公共サービスの現場が厳しい状況に置かれる中、組織内議員としての役割を果たすべく奮闘していく決意だ。

熊本地震では多くの仲間が支援にかけつけた。現地からは感謝の声とともに、継続的な支援を求める声も寄せられた。一方で、支援に行きたくても職場の状況がそれを許さないという問題もある。その背景にあるのは、深刻な人員不足だ。災害時には自治体間協定に基づいて助け合う仕組みがあるが、それすら十分に機能しなくなりつつある。また、若者の離職率が高いことも大きな課題だ。こうした状況を打破することが、私の最大の任務だと考えている。

国政では、平和と民主主義が軽んじられているのではないか。来春の通常国会では「スパイ防止法」関連法案や対外情報庁の創設が提案される見通しだ。私たちの生活や人権に踏み込むこれらの動きを、何としても押し止めていきたい。

来年４月の統一自治体選挙では、地域から中央の政治を変えていく取り組みを進めていただきたい。大会で確認した方針を胸に、明日から力強い一歩を踏み出してほしい。

新執行委員の紹介



衛生医療評議会選出
花井 健裕さん
（八鹿病院職組）



公営企業評議会選出
余膳 正幸さん
（神戸市従）



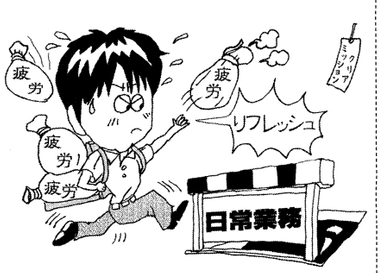
県本部書記局選出
山中 一慶さん
（県本部直属支部）

しこう

最近、都市部での集中豪雨による水害が多発している。名古屋や千葉など排水対策にしっかり取り組んでいても被害にあっている。都市部の雨水対策は計画雨量に対して整備を行っているので、異常気象に伴うような集中豪雨の際にはキャパシティーを超えてしまい内水氾濫を起こしてしまう。「異常」気象といわれる状況が毎年続いているが、その内この「異常」が通常となれば今の雨水対策インフラでは足りなくなってしまうし、追加で整備しようにも都市化によりスペースがなくなっている現状ではそれも難しいだろう。こうなるとハードでの対策よりもソフト面での対策が必要となってくる。危険な場所の災害発生前の規制やハザードマップなどで自分が住んでいる場所がどのような災害にあいやすい場所なのか学ぶなど自治体だけでなく住民も防災・減災に取り組まなければならない。

いまいち座

それでも毎日乗り越える！



大 植　賢（豊岡市職労）

組合員が参加する運動を

報告・方針に対し20人が発言

運動方針への質疑







・来年4月の統一自治体選挙では、北上哲仁さんを推薦して取り組む。支援を。（白川代議員・川西市職労）

・今年の学童保育利用者は2200人を超え、市独自の指導員の配置基準も満たされていない。会計年度任用職員の処遇改善に向けて正規職員もともにたたかって欲しい。（西尾代議員・いたみ指労）

・組合に何の説明もなく、「学校給食の民間委託」が報道された。組合は反対の方針で交渉や署名などに取り組む一方、条件面の協議も続けている。当局と委託会社の説明には乖離がある。取り組みへの支援を。（古角代議員・加西クローバー労組）

・夏休みに待機児童を民間で受け入れるといっていたが、蓋をあけると12校の内8校を直営で対応してほしいといわれた。急きょ担当課と条件交渉したが、不安を抱えたまま実施された。市長は「市民サービス第一」というが、そのためには職員の条件が大切である。（安里代議員・尼嘱託労）

・昨年の確定闘争では、①地域手当の据え置き②会計年度職員の削減が示された。職場集会、組織内議員と連携した取り組みを行い、地域手当は国通り引き上げることができた。会計年度は全ての職員を守ることはできなかったが、組合員の雇用継続は実現した。（青野代議員・丹波篠山市職労）

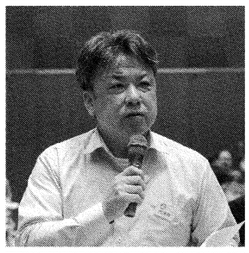
・前回市議選で組織内の吉田秀夫が惜敗し、この3年半、市議会に現場の声を届けられない不安を実感してきた。再選に向け精いっぱい頑張る。（弓田代議員・明石市職労）

・公共民間職場の組織化の取り組みとして、「労災休業補償の上乗せ制度」を創設してほしい。公共民間職場では、業務上の負傷で休業を余儀なくされた際、労基法に基づき6割、8割の補償しかない。その隙間を埋めるシステムを検討できないか。共済等に民間労組の視点も入れ、組織拡大につなげたい。（青野代議員・尼崎社協労組）

・新規採用がなく、人員減少が続く中、65歳以降も雇用するよう訴えてきた。昨年の秋闘では、県本部、ブロックにも応援いただき、全員待機交渉の末、定年者の再雇用を実現することができた。単年度ではあるが、全員待機で組合の存在感を示せたことが力になった。（坂本代議員・尼崎競艇労組）

「構造改革」への質疑







・単組財政が厳しく、専従役員も減らしてきた。県財政悪化によって、今後合理化も想定される。たたかう態勢を維持するため支援を。（田路代議員・県職労）

・組合員拡大は、組織全体で取り組まなければならない。ユニオンショップの導入を進めて欲しい。（久保代議員・尼崎市職労）

・交通産業の人員不足は、賃金を上げにくい構造に加え過酷な労働環境・勤務形態に起因する。交通産業全体の連帯を支える産別組織を維持し、公共交通の未来を守り抜く決意だ。（山本代議員・神戸交通労組）

・執行部の立て直しをはかり、新規採用組織化、病院の指定管理問題に取り組んできた。それでも組合脱退は出てくる。単組が見える行事や交流を通して組合員が顔を合わせる機会を大切にしている。八鹿病院でも「病院のあり方検討」がはじまっている。情報共有などの取り組みが必要。（高藤・八鹿病院職組）

・組織率、県本部支援などに濃淡がある。そうした実態を反映してほしい。（浜松代議員・たつの市労連）

・限られた予算の中では、賃金・労働条件・職場改善を最優先し、他の活動は減らすべき。構造改革は、もっと議論を深めてほしい。（村上代議員・南あわじ市職労）

構造改革を。（吉田代議員・高砂市職）

・他単組と交流できる場が「組織集会」のみ。単組間交流なくして団結強化ははかれない。運動を低下させない取り組みと、さらなる財政削減の努力を。（藤原代議員・豊岡市職労）

・県本部の運動と組織を持続させていくためには改革が必要。組合員の減少に伴い、財政も厳しくなる中、組合員の納得と共感を得られる取り組みが大切。（吹田代議員・神戸市従）

・職場オルグのみでなく、

活動報告の発言



・新採への資料に返信用封筒を同封し、組合員不在の部署からの加入に繋がった。交流イベントや講演会、病院統合説明会、ハラスメント講座等を開催し、組織強化に努めた。専従役員の削減、役員の高齢化もあり、情報発信のあり方などを見直し、組織拡大に取り組む。（中野代議員・県職労）

・自治体の事務負担軽減に向け、国保連合会の役割強化が検討されている。これによって市町の委託費抑制、財源安定化が期待される。職員の労働条件悪化や残業増加を招かないよう協議していきたい。（松本代議員・国保労組）

・高砂市民病院の指定管理者制度への移行に向け、反対の立場を維持しつつ条件交渉を行い、現給保障の内容や保障期間の改善を引き出すことができた。今後も現場の声を重視し、粘り強い交渉を続けていく。（堀毛中央委員・高砂市職）

執行部答弁



北池書記長

加西の委託は、当局の対応は不誠実、労使協議が必要。学童職場は、指導員がいてこそ現場が成り立つ。環境改善をしっかり訴えたい。尼崎競艇、丹波篠山の発言では、組合員に広げた運動が前進につながったことを確認したい。会計年度は、制度的にたたかいにくい状況がつくられているが、総務省通知や現場実態から運動することが大切だ。公共民間の組織化は、提案いただいた内容も検討し進めていきたい。

政治闘争の発言が複数の単組からあった。統一自治体選挙の日程も決まった。県本部は組織内・推薦の当選に向け全力で取り組む。

構造改革について多くの単組から発言いただいた。県職労支部と単組の連携の提起は受け止めたい。ユニオンショップは労働基本権回復とあわせた取り組みが必要。組織強化・拡大の取り組みの重要性について発言いただいたと認識している。単組支援の強化、組織集会や県本部大会などで意義ある議論ができるよう努める。県本部への結集をお願いする。

こくみん共済 coop NEWS　5125V039

じちろうセット共済　特別募集のご案内

新規加入・保障増額の機会を特別に追加
ぜひ、この機会に保障 死亡保障 医療保障 の点検を！
組合員用の掛金で利用できます。

団体生命共済（がんを含む）
入院は日帰りから。連続5日以上の成人病入院はさらに手厚く。
そして各種通院共済金、手術共済金、がん診断時の保障（上皮内がんも含む）や先進医療保障付き。もちろん死亡保障も。

組合員本人（～60歳） F 型 + 03 コースで、死亡 600 万円 + 入院日額 3,000 円の保障

税制適格年金　長期共済 ➡ 退職後の年金のための積み立てタイプの共済。
親子共済 ➡ 子どもの教育資金のための共済。

共済期間　2027年1月1日～　各単組で取組んでいるセット共済満期日 以降1年ごとの更新となります。
申込書類提出先　所属している組合
申込書提出期限　2026年11月30日（月）

幸せは ひとりじゃつくれない ～力をあわせてたすけあい～

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。
こくみん共済 coop 自治労共済推進本部 兵庫県支部
TEL：078-392-0821

契約にあたっては パンフレットをご覧ください。

こくみん共済（全労済）
自治労共済 兵庫本部

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨にご賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地（先）の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

全労済自治労共済本部資料より引用